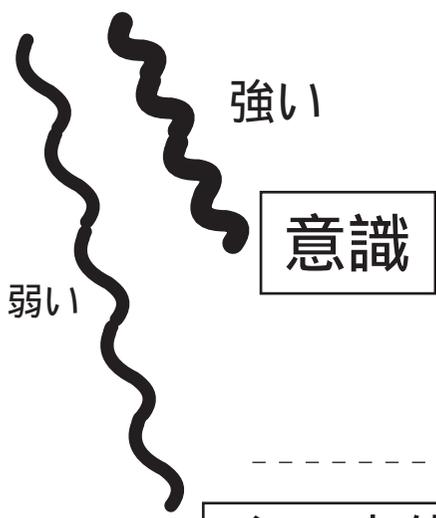


「心の成り立ち」と「想念の経路」

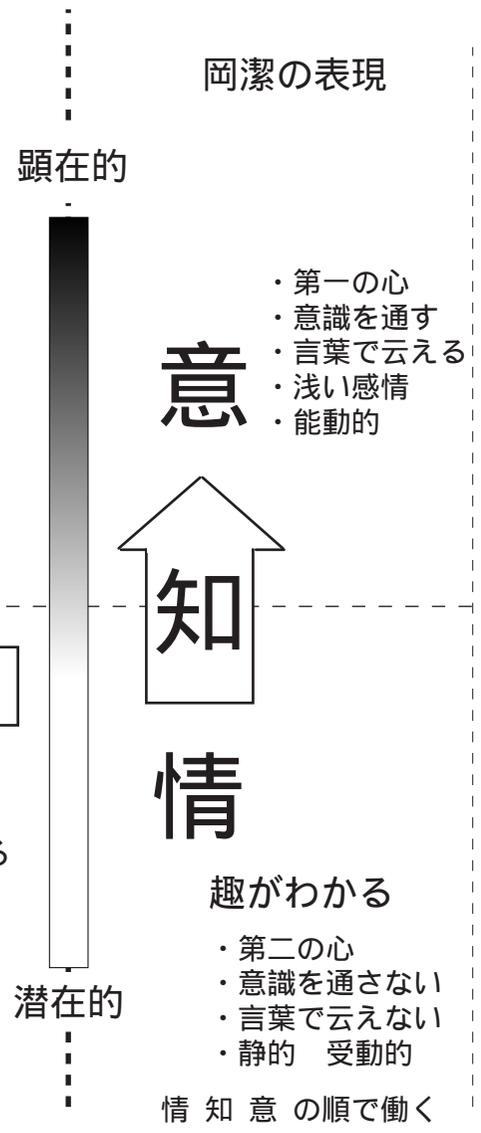
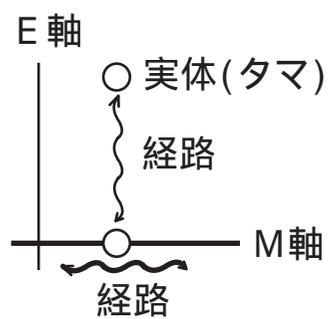
想念の経路

経路 経路



心の本体

想念は
伝わる (位置を持たない)
経路 E軸上の実体と
M軸上の物質とをつなぐ = 知る



縄文哲学での表現

シ 幟

・生命維持の欲求

キクラムワタヲ
ネコエワケ

タ マ

・ココロバ (良心)
・タマ
・ミヤビ
{ ナサケエダ (情)
アワレエダ ナサケの
つながり
時 (過去と現在)

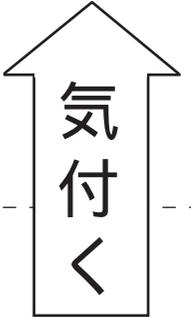
ネコエ = 想念?
声の元?
タマノヲ = 想念?

記紀での表現
(シラス・ウシハク)



日月神示の (キ) 気

意識



気 (キ)

G・アダムスキーの表現

センス
マインド

- ・五感につながる
- ・視覚
- ・聴覚
- ・味覚
- ・嗅覚
- ・触覚 (touch)

ソウル
マインド

- ・触覚 (feel)
- ・心の本体

シ幟に地上の物質が寄り集まって生命が創られる